

# スポットライト

～地域で頑張る人たち～



No.2

## 輝北牛をブランド化へ

### 「牛」で地域を盛り上げる

#### 輝栄牛会

## 輝

栄牛会は、平成22年に発足した、輝北町在住の肉用牛経営者からなるグループです。現在、メンバーは17人（繁殖農家15人・肥育農家2人）で、会長の有馬研一さん（46歳）を筆頭に、20歳～40歳代と、いずれも明日の輝北の畜産を担う若

者たちで構成されています。

発足のきっかけは、近年の畜産を取り巻く環境の厳しさ。近頃は子牛価格は高値で推移していますが、この状態がいつまで続くか分かりません。輝北地区でも畜産農家の高齢化・担い手不足による飼養頭数の減少は他

と同じ。「この状況に危機感を抱き、今のうちにやれることをやらなければならないという思いは皆同じだった」と有馬会長は熱く語り



有馬研一会長は「今後、自分たちのブランド『輝栄和牛』を全国に発信していきたい!」と話す

ここ数年、会員の牛は、全国規模の枝肉共進会での最優秀賞、

県畜産共進会での九州農政局長賞の受賞等、優秀な成績を収め、地域を盛り上げようという機運は、一層高まってきています。

そこで、昨年10月の総会では、輝北産の牛を輝北で肥育し、「輝栄和牛」としてブランド化していくことが決定されました。地域の若手主体のブランド化の取り組みは大変珍しいようです。輝栄牛会は、肉用牛の経営規模の拡大、商品性の向上を通じて、地域を盛り上げるべく、会員同士で知恵を出し合いながら、今日も輝北で牛飼いに励んでいます。



共進会対象牛の集合指導には、会員が集まり、仲間の出品牛の手入れや、指導内容の把握・情報共有などを積極的に行っている



昨年5月開催の「曾於地区畜産共進会」では、父系群の部（3頭1組）に、自分たちで育てた牛を初めて出品。見事2席となった

## Present



応募〆切 3/9

当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



カンパチ味噌 / 3名様

BADONNA

鹿屋市西原4丁目 1-1-502

かのやカンパチの骨身を丁寧に手作業でとり、手作りする味噌とあわせたものに、鹿屋産の生姜を加え、食感を楽しめるよう工夫。平成27年度大隅「食のおみやげ」審査会で奨励賞を獲得した、白ご飯や野菜スティックなどにピッタリな逸品を3名様にプレゼント。

## お便り&メッセージ

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報、抽選・賞品引換券の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはありません。